

台湾新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2017年11月6日号 東京発行 NO.247

発行元：株式会社 台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 4-19-4 TEL：03-5917-0045 FAX：03-5917-0047 <http://www.taiwannews.jp> E-mail:info@taiwannews.jp
 ■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。 定価 350 円(税込) 定期購読 12 回：3,500 円(税込) / 24 回：7,000 円(税込) ©郵便振替：00140-4-594168



TOPIC

日本語版

- 台北旅行博、来場者数歴代記録突破 2面
- 洪馬克監督から台湾ショートフィルムについて語る 6面

中国語版

- 迎光輝 10月 日本僑界歡度雙十國慶 2-3面
- 加強台日連結 長風基金會首辦青年參訪團 4面
- 陶藝家張義明京都個展「天空」傳達對和平的期望 5面

WEBでもニュース記事が読めます
<http://blog.taiwannews.jp/>



台湾新聞2018年 謹賀新年元旦号 広告ご出稿のご案内

台湾新聞では、来年1月1日に107年目の新年を迎える中華民国(台湾)へのお祝い広告を募集しております。台湾新聞の読者の方々に向け、お祝い広告を掲載しませんか？詳細御希望の方はお気軽にお問い合わせください。

【お申し込み方法】

FAXまたはメール、郵送で弊社までお知らせ下さい。

【お問い合わせ・お申し込み先】

台湾新聞社
 TEL: 03-5917-0045
 FAX: 03-5917-0047
 E-mail: info@taiwannews.jp
 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4



蔡英文総統「より良い台湾」を主張(写真提供：自由時報社)

蔡英文総統2度目の国慶節で 「より良い台湾」を主張

中華民国国慶節を祝う「中国民国106年双十国慶節祝賀大会」が10月10日、総統府前広場(台北市)で行われた。就任後2回目の国慶節となった蔡英文総統は、今年の国慶節のテーマを「より良い台湾」と発表し、これまで「長期介護2.0」や「幼児教育・託児公営化拡大」などの約束実現や改革を推進し、人々により良い生活をもたらすなどを目標にして「より良い台湾」を実現してきたと主張した。

また、今後の改革に対する姿勢も改めて表明した。台湾民主と自由のさらなる発展や国際参加などに触れながら、式典に出席していた各党の主席に対し「未来の憲政改正推

進の過程で、皆さんと意見を交換できる事を望んでいる」とも述べた。

一方、就任後初の国慶節を迎えた頼清徳行政院長は「台湾全体の経済力を向上」が最重要であると主張し、民間企業の給料の引き上げや一例一休制度の調整、5+2産業イノベーション計画などを着実に実行する事を挙げた。さらに、「蔡政権の下、皆で団結すれば台湾は良くなっていく」と述べた。

なお、国慶節を祝うため、総統府ではプロジェクションマッピングを使ったショーが開催されたほか、台東県では約2万6000発の大輪の花火が36分間に渡り打ち上げられるなど、台湾各地で国慶節が祝された。

やり投げ代表・小椋健司選手 東京の国慶節イベントに出席



謝代表、やり投げ日本代表小椋健司選手に「日台友好の風範」の色紙を贈呈 小椋選手は、今年8月に台北で行われたユニバーシアードのやり投げ種目の金メダリスト鄭兆村選手に大学4年間愛用してきた自身のやりを贈呈し、そのやりを使用して金メダルを獲得し、さらにアジア新記録も叩き出した、などの経過がある。

謝代表は、スポーツ精神溢れる行動が日台友情の絆で、あるとし、「日台友好の風範」と記載した色紙を贈呈した。一方、同席していた日本大学陸上部の指導者である山本祐三氏は、45年前に台湾国籍の楊傳廣氏より砲丸投げを指導された事に起因して、当時楊氏より頂いた

メッセージを謝代表に贈った。

イベントには約1500人が出席

また、同レセプションには、日本台湾交流協会の大橋光夫会長、日華議員懇談会の山東昭子副会長、東亜経済人会議日本委員会の檜田松瑩委員長ら来賓のほか、日本華僑団体、メディアを合わせ約1500人が来場した。そのなか、安倍晋三首相の母・安倍洋子さんと、バチカン、エルサルバドル、ホンジュラスなど7カ国の駐日大使も出席し、国慶節を祝した。

なお、昨年の来場者数2000人と比較すると約500人減ったが、これは日本の衆議院が9月28日に解散し、政界からの来場者が減少した事が起因したともみられる。

代表処の謝代表は挨拶で、今年は戒厳令の解除(解嚴)がされてより30年を迎えた節目だと強調した。この30



国慶節を祝う(左から謝長廷代表、安倍洋子さん、謝代表夫人)

日台間の青果物輸出額5年以内に100億円規模目指す



青果物に関するMOU調印式(左から農委会の陳吉仲副主任委員、ファーマインドの堀内達生代表取締役社長、台農発の陳郁然董事長)

行政院農業委員会(以下：農委会)が台湾農産業活性化のために昨年12月に設立した台湾国際農業開発股份有限公司(以下：台農発、陳郁然董事長)と日本青果流通業者のファーマインド(堀内達生代表取締役社長)は10月13日、都内で「青果物の輸出/輸入の相互協力に関する基本合意書」に調印した。

この締結で、5年以内に日台双方の青

果物の貿易取引額をそれぞれ100億円規模への拡大を目指す。

締結後、日本側のファーマインドは台湾青果物輸入で、青果専用のコールドチェーン(低温を保つ物流方式)による物流機能と出荷機能を軸に、野菜、果物の混載による統合物流を強化する。さらに、同社保有の国内14カ所の物流拠点を生かし、インフラ及び流通ノウハウを台湾側に提供するとし、台農発の日本市場開拓の支援も行う構え。一方、台湾政府からのバックアップを受けている台農発は、日本産青果物の台湾への輸入時の全面的サポートなどの協力体制を整えるという。

なお、相互協力の皮切りとして、まず台湾側からコンテナ1個分(約6トン)のバナナがこのほど出荷された模様だ。

台農発の陳董事長は「台湾農産品のグローバル化に伴い、生産プロセスに関わる

コールドチェーンや包装、輸送など国際的見地での規定に従う事が必要である」と述べたほか、台湾と日本の緯度の相違による生産期のギャップにも触れ、「農産物の相互供給によって日本市場のニーズを満たす事ができれば」と、今後の業務提携に意欲を示した。

調印式には農委会の陳吉仲副主任委員が立ち会ったほか、台北駐日経済文化代表処の郭仲熙副代表らが出席した。陳副主任委員は、「日台の農業は相互補完性があり、このような協力により、今後双方の国産青果物の貿易は大幅に拡大するだろう」と期待した。



国際機関における台湾の立ち位置について討論

近年、台湾はアジア太平洋経済協力(APEC)や太平洋諸島フォーラム(PIF)など58団体の国際機関(多数の国家が共通の目的を共同で実現するために合意によって作る国際的な団体)への加盟(うち21団体はオブザーバーとして)が叫びられている。しかし、使用されている名義は“中華台北”などといった抽象的なものも含まれている。さらに、昨年9月には、カナダ・モントリオールで開催された国際民間航空機関(ICAO)総会で参加が認められなかったほか、今年5月、スイス・ジュネーブで開催された世界保健機関(WHO)総会への参加も見送られたという現状があるのも事実である。

このような状況下、10月13日に日本記者クラブ(東京都千代田区)で行われたアジア調査会主催の「国際シンポジウム」で、台湾の国際機関における立ち位置について認識を深めべく、「台湾と国際社会 台湾社会の動向を視野に」をテーマにパネルディスカッションが行われた。台湾から前台南市副秘書長である台湾貿易センターの劉世忠副董事長を招き、毎日新聞論説室の坂東賢治専門編集委員、日本貿易振興機構アジア経済研究所の竹内孝之副主任研究員、東京外国語大学大学院総合国際学研究院の小笠原欣幸准教授の4人のパネリストが、台湾の国際機関参加をめぐる戦略や課題、台湾アイデ

ンティティや社会、経済の動向について討論した。

劉副董事長は、台湾の国際参与の立ち位置について「効能性の国際参与」を強調。「『ひとつの中国』を主張している中国大陆による弾圧などの政治的問題により、国際機関への参加は難しいかもしれないが、地方自治体など民間レベルでの交流により国際参与に際して不足している部分を補う事ができる」と述べ、災害発生時の国を超えた相互協力や、観光やグルメにおけるソフトパワー(軍事力や経済力に関わらず国際社会から信頼を得る力)があると主張した。さらに、台湾の蔡英文総統が現在打ち出している新南向政策に触れ、「積極的に新しい市場を開拓する事で、国際機関において新しい機会を作っていくべき」とした。

一方、竹内副主任研究員は、台湾が国際



4人のパネリスト(左から台湾貿易センターの劉世忠副董事長、日本貿易振興機構アジア経済研究所の竹内孝之副主任研究員、毎日新聞論説室の坂東賢治専門編集委員、東京外国語大学大学院総合国際学研究院の小笠原欣幸准教授)



台湾と国際社会についてのパネルディスカッション機関から疎外されている理由について言及。国際連合での中国代表権を中華人民共和国(中国大陆)政府に移転した事により「中華民国」としての加盟資格を失った事や、日本やアメリカなど主要な西側諸国との外交関係も断絶した事が背景にある事を指摘。今後は、既存の地位を活用して国際空間を拡大するなどの打開策を述べた。

呉館長、二二八事件など公文書公開を訴える



台湾国史館の呉密察館長

台湾国史館(総統府直属の歴史研究機関)の呉密察館長は10月13日、東京大学で行われた「台湾漢学講座」内で「政府は二二八事件や白色テロに関わる全ての情報を公開する義務がある」と主張した。さらに、今後の政治課題として、「轉型正義(公文書を公開し、二二八事件や白色テロなど政治

的迫害における真相と歴史を解明する事で迫害者に正義をもたらす)」を挙げた。

呉館長によると2000年以降、二二八事件を含んだ第二次世界大戦後の史料は大量に収集されていたが、著作権や関連の権利保護などの法律に触れてしまう関係から、公開できていなかったという。呉館長は、一刻も早く史料の機密解除できる法案を起草し、閲覧できるよう求めた。

呉館長は、法令により中国大陆、香港、マカオの住民がこれまで、台湾歴史史料閲覧の申請ができなかった事から、今年4月に蒋介石前総統に関する史料を国史館のインターネットサイトで公開できるよう仕掛けた。これにより、全ての人が機密解除された史料の閲覧が可能となった。現在では、266万点以上に及ぶあらゆる史料文物をデジタル化し、公開している。

なお、現在台湾では「轉型正義を促進する条例」や政治的迫害が起きた事件の公文書のファイル化を義務

付け等の「政治檔案法」の法案起草が議論されている。

東京大学附属図書館と台湾国家図書館は2014年12月、「台湾漢学リソースセンター(臺灣漢學資源中心)」の開設や「台湾漢学講座(隔年)開催」などの内容を盛り込んだ協定を締結している。今回は第二回の台湾漢学講座であり、台湾から呉館長を招き、1970年代以降の台湾歴史研究及び公文書をテーマに講演を実施したのも。



呉密察館長は台湾漢学講座内で公文書について講演

台北旅行博、来場者数歴代記録突破!



4日間で統計36万6976人の来場者が訪れた

台湾現地法人台湾観光協会は10月27日より30日まで、台湾の台北世界貿易中心展覽館1館の1館2階Hエリア及び3館にて「2017年台北国際旅行展」を開催。主催者の発表によると同展には、4日間で延べ36万6976人の来場者が訪れ、昨年比で1.63%の成長率、歴年記録を突破した。同展では今年初めての試みとして、チケット代の200円を交通ICカードの悠遊卡や、クレジットカードでも支払えるようにし、来場者が訪れやす



静岡県のブース

いように工夫していた。アジアでも最大級とされている同展の開催は今回で25回目。今年は68の国・地域から950団体に参加し、1650のブースが展示された。日本からも、地方各自治体や旅行関連企業らが展示し台湾市場に日本の敢行をPRした。台湾にも事務所を置いている静岡県の駐台辦事処・宮崎崎三処長は、「日本の地方自治体で台湾に事務所があるのは静岡県と沖縄県のみだ。これで静岡がどれほど台湾市場を重視しているか理解していただけるだ

ろう」と述べたほか、「おかげさまで静岡に訪れる台湾のお客様も年々増えてきている、今後も旅行博を始め、様々な交流を進めていきたい」と意欲をみせた。

なお、中国大陆ブースは今年、12年来初めて出展を見送った。台湾メディアの報道によると、これに対し中華民国旅行業品質保障協会のスポークスマン・連郁卿氏は、「台湾と中国大陆の間の観光交流は既に冷えた関係にあり、中国大陆の旅行客が台湾に来なくなり、旅行業者の経営が苦しくなっている事は最大の問題だ」と述べたという。

(元=ニュー台湾ドル)

台湾優良製品が一同に集結! 今年も商談会が盛大に開催



日本企業が多数来場!各ブースで商談

台湾貿易センター(以下:TAITRA)主催の「台湾エクセレント商品及びパテント商品商談会」が9月29日、帝国ホテルで開催され、バリエーション豊富な台湾製造メーカー74社が出展した。同展は今年で22回目を迎え、TAITRA東京事務所の呉俊澤所長によると、今年は機能性をテーマに、数多くある企業から出展社を厳選したため、優良企業が集まったという。一方、来場した日本企業の関係者は中小企業が多く、なかでも専門商社やスーパーマーケット、ホームセンターなどの業種のバイヤーが来場したとしている。

なお、同展は同25日には福岡会場で、同27日には大阪会場で開催され、3箇所全体で日本企業の関係者ら1331人が来場するなど大反響だった。年々進化するアイデア品から最近流行りのトレンド品など、実用性ある台湾の製品を取り揃えていた事が要因とみられる。

なかでも、今年初出展で注目されていたのは、高分子技術で特殊成分を配合した自然成分のハンドメイド石鹸「Fethiann International」。厳選された自然の果実と草本素材を抽出した植物性のエッセンスを融合しており、毛穴の引き締めや、ニキビ効果があるとしている。現在台湾では、20代~90代と幅広い年代に使用されている。薬剤師が販売する事で信頼に繋がりを、目下、薬局での販売量は百貨店との対比で2倍に上るといふ。日本でも今後、薬剤師が常駐している薬局での販売を目指したいとした。なお、大阪で行われた同展では、薬局を運営する企業向けにすでにアプローチし、順調に商談が進んでいるとの事。

さらに、50年の歴史を持つエコ重視の企業「ECOMAX TEXTILE CO.,LTD」の商品も目立った。台湾初となるペットボトルリサイクル素材を用いる紡績メーカーであり、タオルやバッグなど様々な加工製品を生み出している。なお、2011年の東日本大震災時、台湾から送られた数多くの物資のなかに同社が開発したタオルケットも含まれていたという。さらに、2001年に台湾環境保護局による「環境保護認定0923号」を取得してより、国際市場に向けた業務を開始し、現在日本では、無印良品やイオンなどの店舗と締結したOEM製品も実現化している。ペットボトルのほか、不要な梱包、竹墨、食べ終わった牡蠣の殻などをリサイクルし加工した製品も多く手掛けている。

一方、ゲーム用ハードウェアメーカーの「Zeroplus」は、Xbox OneからPS4に変換するコンバーターやコントローラアダプターなどの開発を行っている。現在はAmazonでの販売を主にしており、日本のほか、香港、欧州地域で人気ある商品となっている。なお、インターネットで同社製品の存在を知ったグローバルジャパンの佐藤千世取締役は、自らアプローチして今年8月より正式に日本での総合代理店を締結した。開発を強みとする同社製品は、これまでコードレス電話用のリチウム電池や高速充電可能なApple認定製品を生み出しており、今後は、同社が開発したこの様な家電製品を日本で販売していきたいとした。

なお、商談会開始前にはオープニングセレモニーが行われ、TAITRA東京事務所の呉所長のほか、同展後援者である日本台湾交流協会の貿易経済部石田靖博次長、日本貿易振興機構東京商工会議所企画部の清水顕司海外地域戦略主幹らが出席した。



「Fethiann International」の石鹸は24時間泡が保てる

＝リクエストの高い商談会＝ 精密加工業者が自社製品PR



を話す。自転車やバイクの部品を扱っている宗基五金有限公司は、全体の約70%が輸出。日本は主に商社向けというが、今後の目標として「お客様一人一人のニーズをしっかりと把握するためにも直接小売店や問屋などへの取引を拡大したい」と話した。

一方、坤豊金属工業股份有限公司は5回目の出展となったが、なかなか企業からの「発注」まですぐに辿りつかないという。商社を通した取引は20年以上の実績があるため、今後時間をかけて自社製品を知ってもらい、「大量発注」してもらえよう努力していきたいとしている。

なお、大阪会場には200人、東京会場には170人の日本企業担当者が来場した。日本側の商社の男性会社員は、事前に出展企業リストを確認し、商談したい企業に目星をつけて来場したという。男性は「主に建設機械、農業機械、電気メーカーに卸しており、同商談会には台湾の製品に可能性があるかどうか確認するため来場した。品質に厳しいお客様ばかりなので、ニーズに合う製品があったら是非取引したい」と話していた。



プレス金型や樹脂成形金型部品を生産している宇鈞精密股份有限公司の製品

教育旅行推進の招請事業 今年もスタート

日本政府観光局(JNTO)は、台湾訪日教育旅行の推進を目的に10月17日～21日の5日間、来日した台湾の学校校長ら教育関係者約120人に対し、各地方の学校や観光地の視察を含んだ招請事業を行った。台湾教育関係者は関東や北海道、沖縄など各方面、13コースに別れて視察した。

招請事業に先立ち初日の17日、台湾訪日教育旅行交流会が京王プラザホテルで開催され、日本の観光関連業者と台湾教育関係者各約120人が、各テーブルで意見交換を行った。

同事業に過去3回参加している国立土庫高級商工職業学校の何佩玲校長によると、同校では、毎年5月に実施している修学旅行先に日本を選択している、という。「来年の修学旅行は学生を関東に連れて行きたい」との意思の下、今回は埼玉、千葉、長野の視察コースを選んだ。何校長は「日本関係者と知り合う機会を与えてくれるこの交流会は私たちにとても意義がある」と話した。

一方、石川県から参加した石川県観光戦略推進部国際観光課の横山慶典主任主事は、「意見交換では、台湾側の学校がど



各テーブルでは意見交換が行われた

のような体験プログラムを希望しているか等のニーズを聴いていた。意見交換の時間が限られていたので、本日から始まる招請事業で、しっかりPRしていきたい」と話した。

なお、JNTOから出向している日本台湾交流協会台北事務所経済部の中杉元主任によると、今回の教育旅行交流はJNTOの訪日客数増加させる事業の一環だという。「修学旅行を通じて今後、訪日観光客のリピートに繋がる事が願いである」と話した。

台湾側に向けた講演会実施

同交流会を前に、全国修学旅行研究協会の木田一彦国際担当部長(前埼玉県立草加高等学校校長)は台湾教育関係者向けに、「日本の高等学校と臺灣の高級中学との学校交流について～埼玉県教育事業～」をテーマにした基調講演を行った。

木田国際担当部長は平成21年に、埼玉県県の立高校初めとなる海外修学旅行(台湾)を実施した実績がある。それ以降、台湾の学生との交流の機会を増やすなど、修学旅行を通



台湾側教育関係者約120人が記念撮影



全国修学旅行研究協会の木田一彦国際担当部長は台湾側に対し講演を行った

じた日台学生交流促進に尽力してきた。木田国際担当部長は以前来日した校長らのリクエストから、講演のなかで埼玉県の教育活動の取り組みや、教育重点施策、これまでの日台学生交流について触れた。さらに、自身の経験から、書道や部活など体験プログラムやホームステイプログラムの実施、また、帰国しても学生同士が連絡取れるよう、手作りの名刺を用意するなどのアドバイスも行った。

なお、木田国際担当部長によると、同交流会に参加した3つの学校がすでに、埼玉県の高校と交流会を実施したいとの申し出があるとしている。

葉名樺(ダンス)×渡辺豪(3DCG)

融合が実現

葉名樺さん、体全体で表現したダンスで来場者魅了

台湾で新進気鋭のダンサーとして知られる葉名樺さんと渡辺豪氏の3D コンピュータグラフィックス(3DCG)作品が融合したパフォーマンスが横浜市民ギャラリーあざみ野展示室1で10月7日に披露された。このパフォーマンスは、渡辺豪の個展「ディスロケーション/dislocation」(開催期間10月7日～29日)のオープニング日に合わせて行われたもので、会場には約60人の観客が来場し、一切音を使用しない葉名樺さんのダンスに魅了された。

時間の表現者とも称されている葉名樺さんは、プロジェクターで投影された渡辺豪氏の作品を背景に約45分間、3段階に分けたパフォーマンスを披露した。パフォーマンスでは元々ある自分の姿から軽やかな蝶々のイメージを経て、最後は現在の自分へと展開していく様子を体全体で表現した。

このパフォーマンスは葉名樺さんによって全て考案された。渡辺豪氏の作品を何度も研究し、「なぜこの作品を作ったのか」をしっかりと理解して自分のダンスを考案したという。「ストーリー性あるこの作品を壊さないようどうパフォーマンスするか、これを考える事が一番の課題だった」(葉名樺さん)。

さらに、渡辺豪氏とは創作中に直接会って話す事ができず、メールでのやり取りが中心だったそうだ。葉名樺さんは「理解できない所は自分の頭の中で想像するしかなかった。

でも、この想像の空間が生まれた事が返って良い表現力に繋がり、パフォーマンスに生きていた」と話した。

一方、当日パフォーマンスを見た渡辺豪氏は、「葉名樺さんは僕の作品を意識して動きをつけてくれたので、作品とマッチングしていた。自分の作品に何かか加わる事は初めてだったので、新鮮で嬉しかった」と話した。

なお、2人の融合パフォーマンスを企画したのは、同ギャラリー主席学芸員である天野太郎氏だ。天野氏は昨年、台北で行われた展示会で葉名樺さんの作品を見て感激し、日本でどうにかコラボレーションができないか考え、今回オープニング日に合わせて同パフォーマンスの披露に至った。

また、葉名樺さんはアジア・カルチャール・カウンシル台北(ACC、アジア諸国感における文化交流を支援する非営利財団)から2018年度個人フェローシップ助成を受けており、来年8月より3ヶ月間、日本に滞在する事が決まっている。日本が小さい頃から大好きだと話す葉名樺さんは「私は挑戦する事が好きなので、日本では舞踊を習うつもりだ」と話した。



葉名樺さん(右)・当日スタッフとして参加した日本で活躍するバレリーナ林彦均さん

沖縄・栃木・宮城 日台交流イベント開催

近年、日本と台湾の関係もますます密接となり、日台交流イベントが日本の各地で頻繁に開催されるようになった。今年の9月～10月にかけでも、台湾グルメや文化を紹介するフェスティバルが沖縄、栃木、宮城の3箇所で初めて開催された。

なかでも、9月30日と10月1日に宮城県仙台市の勾当台公園市民広場で開催された「リトル台湾 in 仙台2017」では、台湾政府

や台湾観光局の協力を得て、東日本大震災の被災地において初めての開催となった。「震災の際、200億円を超す義援金を寄付した台湾に感謝の思いを伝えたい」と、台湾を紹介するのが自分の夢だと語る仙台市在住30年の台湾人・張菁荳さんと、恩返ししたいとの思いから20回以上訪台している日本人・中村万紀さんの二人が立ち上がり、同イベントを企画したという。

赤いちょうちんがたくさん飾られた会場には、台北、台南、基隆などの自治体がブースを構え、文化や歴史、観光スポットを紹介したほか、現地の味を提供するグルメ販売や原住民の手工芸品物販など約40ブースが設けられた。さらに、座ったまま行う台湾式シャブ体験、「月下老人」参拝コーナーなど多種多様なイベントで会場を盛り上げた。

主催者の張さんは、「何も経験がない私達

でしたが、ゼロから始め、夢中になって形を作りました。難しい事も多々ありましたが、当日2日間、目の前にあった賑やかな会場と来場者の笑顔を見る事ができ、感動しました」と話した。

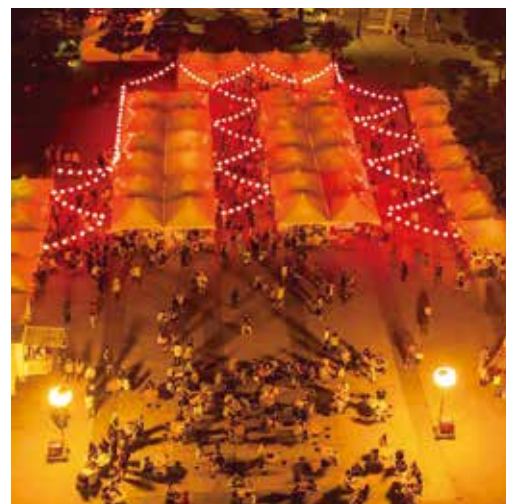
また、沖縄の「台湾フェア2017in 沖縄」、栃木の「宇都宮トキメキ☆台湾フェス」でも大盛況となり、各地方で台湾を伝える機会となった。



沖縄：台湾フェア2017in 沖縄(9/21～9/23)



栃木：宇都宮トキメキ☆台湾フェス(9/29～9/30)



仙台：リトル台湾 in 仙台2017(9/30～10/1)

好立地資産物件 元町商店街(石川町駅 1分の好立地)		
価格: 3,240万円(税込)	想定年収 285万円	想定利回 8.8%
投資費用最速		
売店舗・事務所 GSビル 301号		
★何業も可 (医療・美業・各種教室・各種健康産業に最適)		
【所在地】 横浜市中区石川町1-3		
【交通】 JR浜東北線「石川町駅」徒歩 1分		
【構造規模】 RC造 7階建 3階部分		
【専有面積】 61.47㎡(18.47坪)		
【土地権利】 所有権 【建築年月】 昭和53年10月		
【管理費・修繕積立金】 24,480円・24,480円		
※諸条件ご相談に応じます。(価格等、お気軽に声をかけて下さい。)		
アセットライフ		

プラスの力になる

年間定期購読

毎月第1月曜発行

台湾新聞 続けて読むから「台湾」が解る台湾のとれたて情報を毎月お届け。

お得 01 送料無料でお届け!

お得 02 1年契約で700円お得!

※12回発行で購読料3,500円(1部350円×12=4,200円)

～お申込みはかんたんです(住所・電話番号・お名前・契約月)～

お申込み窓口 (TEL 03-5917-0045 FAX 03-5917-0047) まで

メールでも受付中! (info@taiwannews.jp)

★山手線新大久保駅2分 ★総武線大久保駅1分

嘉南旅行社

東京都知事登録旅行業第3-4417号(社) 全国旅行業協会正会員

台北 ¥27,000(税別)	北京 ¥30,000(税別)	上海 ¥35,000(税別)
大連 ¥32,000(税別)	韓国 ¥27,000(税別)	越南 ¥32,000(税別)
香港 ¥30,000(税別)	曼谷 ¥32,000(税別)	新加坡 ¥32,000(税別)

●代辦中國、東南亞諸國簽證 ●世界各地便宜機票、酒店及團體旅遊
●來日團體的酒店、派車、導遊 ●電腦訂位、迅速、確實

※銀行匯款口座 三菱東京UFJ銀行練馬駅前支店 (普) 3678888 (名義) 嘉南觀光(株)

精通國、臺、日語服務親切

營業時間: 週一～五 9:30～18:00・週六～日・假日 休息
TEL: 03-3366-3988 FAX: 03-3366-2989
地址: 〒169-0073新宿区百人町2-20-1第二岡田屋ビル401

大鑫産業株式会社

広めよう未来につながる
リサイクル社会

大鑫産業株式会社は、不用品や廃棄物のリサイクルを専門とする会社です。

非鉄スクラップ	自動車部品	OA機器	基板	CPU貴金属
---------	-------	------	----	--------

◎電子部品、パソコン関係などの在庫処分にお困りの方は、DAIKINにご相談ください。
◎生基板、トナーカートリッジを買取、リサイクルいたします。

DAIKIN

TEL 0297-30-3308(代表) FAX 0297-30-3309
本社: 〒306-0515茨城県坂東市沓掛6464 http://daikin34.com/index.html

Information エンタメ/イベント/日台交流

ドキュメンタリー「Viva Tonal 跳舞時代」上映

1930年代の台湾の流行音楽と文化を扱ったドキュメンタリー「Viva Tonal 跳舞時代」が11月10日、千代田区立日比谷図書文化館スタジオオプラスで上映される。同作品は、2003年に台湾で制作され、第40回金馬奨最優秀ドキュメンタリー賞を受賞。今回、台湾文化センターの協力を経て日本で上映する。

1930年代の台湾歌謡を牽引した一人として、「純純」という、ひとりの人気女性歌手がいた。同作品では伝統音楽をベースに、台湾歌謡が生まれた時代となった当時の台湾を、「純純」の妹分だった歌手「愛愛」らが語る。霧社事件が起き、また、嘉義農林学校(嘉農)の甲子園準優勝で台湾中が沸いた30年代台湾とは異なる側面を、このドキュメンタリーのなかに見つけられるかもしれない。

「近年、劇映画やドキュメンタリーなど日本統治時代の台湾を扱った映画が毎年公開されている。こうした作品に触れた事で、日本統治時代の台湾に関心を寄せる人も増え、同作品を観たいと思う人はきっといるだろう」(主催者)。Peatix で事前申込制(参加費:500円)。定員50人。

問い合わせ→ Email: tw.films.2015@gmail.com (台湾映画同好会)



跳舞時代上映会 (写真提供:台湾電影工具箱)

台湾フリーマーケット開催!

台湾カフェ「月和茶(所在地:吉祥寺)」では、月下茶会(お茶会)の第一弾として11月10日、台湾フリーマーケットが開催される(19:00開始/21:00販売終了)。当日はフリーマーケットのほか、イベント限定お菓子などを販売する月和茶ブースも設置され、台湾好きな方同士でのんびりお茶を飲みながら交流できる。

フリーマーケットでは、出品者により台湾現地で調達した品物や、台湾のお土産などが出品される予定。同カフェは来年20周年を迎えるにあたり、台湾好きな方同士の縁を大事にするため、台湾のご利益で有名な縁結びの神様・月下老人にちなんで「月花茶会」と名付け、イベントを始める事にしたという。

※買い物やお茶会のみ参加の場合は事前申し込み不要(ワンドリンクオーダー制)。



フリーマーケット&お茶会開催

問い合わせ↓ gekkachakai@gmail.com (月下茶会)

柯泐薰、日本で初ライブ開催

現在台湾で、珍しい歌声とソングライティングセンスで注目を浴びているポップス界の「misi Ke (柯泐薰)」が11月15日、月見ル君想フ(港区南青山)で日本公演ライブを開催する(19:00入場/19:30スタート)。

2014年に自身のオリジナルアルバム「遊樂」でデビューを果たし、歌声と独特のキャラクターが一躍注目を浴びた。それより3年の時を経て、サウンドメイクも多彩に、表現の幅が大きくスケールアップした新作「DON'T MAKE A SOUND 不能發出聲音」をリリース。この新作が反響を呼び、東アジア大都市ツアーを開催する運びとなり、念願の自身初の日本公演が実現する。

なお、当日は日本人バンド peridots のタカハシコウキと久保田光太郎がゲスト出演する。チケットは月見ル君想フ HP と Peatix で事前予約可能(料金:前売り券3000円【当日券は3500円】+1ドリンク600円)。



柯泐薰日本公演ライブ開催

問い合わせ→ TEL: 03-5474-8115 (月見ル君想フ) Email: info@moonromantic.com

フィルメックスに台湾映画2作品上映

アジアの映画作家を育てる国際映画祭の第18回東京

ジョニーは行方不明が日本で初上映。フィルメックスに台湾映画「山中傳奇」(作品名(上映日時/①11月19日14:30【有楽町朝日ホール】))と「ジョニーは行方不明」(作品名(上映日時/①11月19日21:15【TOHOシネマズ日劇3】と②11月22日12:40【有楽町朝日ホール】))が上映される。

なお、「山中傳奇」①上映後には、主演のシルヴィア・チャン(張艾嘉)によるQ&A、「ジョニーは行方不明」②上映後には、ホアン・シー(黃熙)監督によるQ&Aが予定されている。

「山中傳奇」は2016年のヴェネチア映画祭でワールド・プレミア上映されたデジタル修復版の日本初上映。亡くなった兵士の霊を鎮める儀式に使う経典を清書する命を帯びた若い僧が遭遇する、奇怪な出来事の数々を描いた傑作。一方「ジョニーは行方不明」は台北映画祭で4賞を受賞。同じ男あての間違い電話を何度も受けた若い女性は、次第にこの男の事が気になってくる。やがてインコの失踪を契機に、彼女の思いがけぬ過去が明らかになっていく物語。なお、Q&Aの実施、ゲストの登壇は事情により予告なく変更となる場合あり。

セブンチケット等で発売中(11月9日までの限定早割:一律1000円【平日の17時以前に開始する上映回のみ】、11月17日までの前売り券:一般1300円・U-25割1000円、会期中券:一般1800円・U25割1300円)。

お問い合わせ↓ TEL: 03-5777-8600 (8:00-22:00) (東京フィルメックス実行委員会ハローダイヤル)

読者プレゼント企画

台湾新聞をご覧の皆様の中から第18回フィルメックス内で上映される「山中傳奇」①及び「ジョニーは行方不明」②の鑑賞券(ゲストによるQ&A付)を抽選で各作品3組6名様にプレゼント致します!応募方法は、ハガキに応募券の切り抜きを貼り付け、お名前、ご住所、お電話番号及び台湾新聞へのご意見と感想を明記のうえ、台湾新聞編集部までお送りください。当選のご連絡は発送をもって代えさせていただきます(11月中に発送予定)。締切り:11月15日(必着) 株式会社臺灣新聞社編集部 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 tel:03-5917-0045



台湾映画研究家・稲見さん「星空」を賞賛!



台湾映画研究家・稲見公仁子さん「星空」を賞賛

台湾映画研究家の稲見公仁子さんは10月14日、自身がナビゲーターを務める講座「台湾エンタメ談義」で、台湾の絵本作家ジミー・リャオ氏の作品を原作とした映画「星空」について、「ジミー氏原作の作品のなかでは一番素晴らしい作品だ」と賞賛した。

稲見さんは、これまでのジミー氏の絵本を原作とした映像化作品について、「ビ

ジュアルがジミー氏の作品の構図と絵柄に縛られすぎている」と話した。一方、トム・リン監督作の「星空」については「トム・リン監督がもともと持つテイストを出しながら、表現の部分はジミー氏の作品が生かされていた。CGも多用されており、人物の心情を表すものとして機能していた」と以前の作品との相違を語った。

同講座では、「星空」の10月28日公開の前に、これまで中国大陸や香港で映像化された「向左走向右走(君のいる場所)」や「地下鉄(地下鉄)」などの作品映像一部分を流すなど、ジミー氏原作の作品を総ざらいした。

なお、稲見さんは同講座内で台湾映画の動向についても触れた。2000年代は台湾



同講座では、ジミー氏原作の作品に稲見さんが説明を入れながら総ざらいした。では平均約50本と増加したという。ここ数年では2013年が最多の71本。一方で、2011年以降1億円を超える興行成績の作品は毎年多数あったが、今年は「紅衣小女孩2」のみである事に対し稲見さんは、「本数は増えているのに、メガヒットと呼べる台湾映画がなくなってきたのは寂しい」と話した。

(元=ニュー台湾ドル)

台湾文科省、淡江大学 共同企画

気軽に楽しく学べる中国語レッスン!

すぐ使えるらくらく実用的なフレーズ!

経験豊富な台湾出身のネイティブ教師による授業!

中国語速成会話講座 学員募集中

只今一週目 無料体験実施中!



お問合せ 新富中国語教室(担当:陳) TEL: 080-4109-5488 FAX: 03-5836-6536 Eメール: shintomi.cl@gmail.com

主催: 新富中国語教室 後援: 日本千葉台湾商会

※企業並び団体の要求に合わせて、オリジナルレッスンにアレンジすることも可能です。お気軽にお問合せください。

八王子を一望!マイキャッスル八王子暁町ガーデンヒルズ ~文教地区・優良環境の都市、八王子市のマンション~

販売価格:1,680万円

中古マンション(平成10年2月建築)

- ・住所:東京都八王子市暁町2丁目 交通:JR八王子駅 バス9分「稲荷坂下」停 徒歩3分 間取り:3LDK 所在階:6階
- ・専有面積:「壁芯」175.90㎡(22.95坪) 一棟の総戸数:53戸 建物構造:鉄骨鉄筋コンクリート造 地上9階建 建築年月日:平成10年2月
- ・土地権利:所有権 施行会社:西松建設 現況:在宅(事前予告で見学可能) 管理費:月額14,400円 修繕積立金9,110円 合計23,510円
- ・引渡日:相談 管理形態:全部委託 管理方式:日勤 敷地内駐車場:空有 月額5,000円~9,000円
- ・備考:TVモニター付オートロックシステム ガス:都市ガス 給湯:ガス給湯器 エレベータ:有



<おすすめポイント>

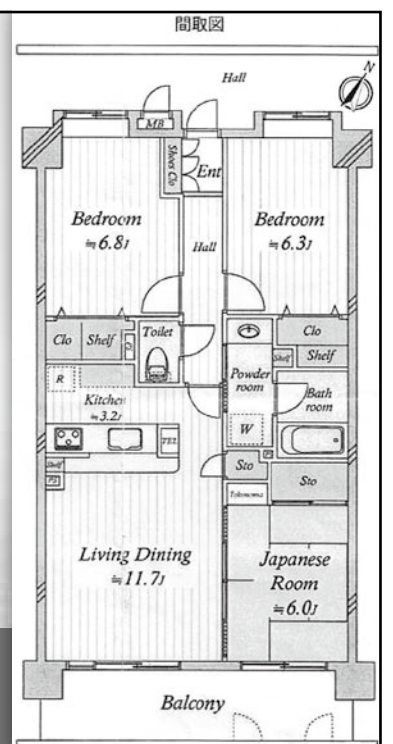
- リノベーション 平成29年7月実施済 ○トイレ:温水洗浄便座・壁・天井・床・換気扇 新規取替え
- ガス給湯器システム:新規取替え ○リビング・廊下、玄関:壁・天井・張替え ○和室:壁・天井・畳・襖・張替え
- 浴室:給湯システム、新規取替え ○キッチン:ガスコンロ新規取替え ○浴室乾燥機付 ○対面式システムキッチン
- 乾式2重床工法 ○クローゼット、押入れ、ゆとり収納○イタリア直輸入の居室ドア ○宅配ロッカー24時間受取り

販売仲介先

三井不動産リアルティ株式会社 豊田センター

0120-531-317 042-686-0562

売主:F&F不動産コンサルタント TEL:090-4748-8335



Digest News / October 2017

— 1ヶ月の出来事をダイジェストで振り返ります

Oct.1 日本の和牛が16年ぶりに販売開始

台湾で今年9月18日に輸入が解禁された。このほど、日本の和牛が16年ぶりに台湾で販売を開始した。輸入再開の先陣を切ったのは宮崎牛約205キロで、9月28日に台湾に到着した。検疫や輸入検査などの通関手続きを経て、台北のホテル・リージェント台北の和食レストラン「三燗本家」は10月1日、約100キロを仕入れ、すき焼きやしゃぶしゃぶ、ステーキとして客に提供し、即日完売した。三燗本家の幹部は、

「米国やオーストラリア産牛肉に加え、和牛を提供できれば、より多くのお客さまを引きつけられる」と今後に期待した。台湾は2001年9月に日本でBSE(牛海綿状脳症)が発生した事を受け、牛肉の輸入を禁止。9月18日に生後30カ月未満などの条件付きで、16年ぶりに禁輸措置を解除していた。宮崎牛以外の和牛も今後、市場に出回る見通しだ。

Oct.3 台湾戯曲センターが正式オープン

台湾にとって初となる国家レベルの伝統演劇専用劇場「台湾戯曲センター」が10年間の準備期間と建設を経てこのほど、台北市士林区に正式オープンした。オープニングセレモニーに出席した蔡英文総統は、台湾に伝統芸術専門の公演施設がこれまでなかった事に触れ、「ようやく『家』が出来た」と述べたほか、正式にオー

プンできた事は、台湾における伝統的な演劇の発展にとってのマイルストーンであり、さらには台湾の社会が注目する大きな出来事だと強調した。演劇のために設計された同センターでは今後、伝統とイノベーションのコンテンツを幅広く兼ね備え、台湾の人々が演劇を知るための窓口となる。

Oct.6 MRT の改札外飲食禁止ライン統一

台北メトロ(MRT)を運営する台北捷運はこのほど、各駅構内の改札外飲食禁止ラインを統一する。これまでMRTでは、改札内や車内での飲食禁止は周知されていたが、改札外においては、「飲食禁止」との黄色いラインの基準が駅によって異なっていたほか、ラインがない駅もあったという。今回の飲食禁止ライン統一により、利用者の混乱を招くのを防ぐためとしている。

なお、同社新聞課の凌啓堯課長によると、先月下旬から市政府駅や国父紀念館駅など32駅で飲食禁止エリアの修正、調整が行われており、作業は来年1月末までに完了する見込みだ。一方飲食禁止エリア内で違反行為が行われた場合の罰則は以前と変わらず、1500元以上7500元以下の過料が科せられる。

Oct.7 南投世界茶業博覧会が今年も開催

南投県主催の茶業と茶文化の普及を目的としたイベント「2017南投世界茶業博覧会」が開催された。今年の会場では「茶葉心身体験」「黄金品茗(さまざまなお茶の試飲コーナー)」といった参加型イベントも催された。さらに、茶業愛好家が集い、良質の茶を互いに分ち合う「千人茶会」では、約350の茶園が設けられ、約2000人の参加者は、台湾に加え、日本や韓国などの茶を楽しんだという。同イベントは、2010年の初開催以降毎年斬新な企画を盛り込んでいる。今年は9日間の開催期間



千人茶会の様子 (写真提供: 自由時報社)

Oct.11 アジアプロ野球チャンピオンシップのメンバー発表

台湾、日本、韓国の3カ国で戦う「アジアプロ野球チャンピオンシップ」の台湾代表メンバー25人が発表された。台湾プロ野球Lamigoモンキーズ・王柏融や朱育賢のほか、日本で活躍している陽岱鋼(読売ジャイアンツ)、陳冠宇(千葉ロッテマリーンズ)も選ばれた。チームの洪一中監督は、同メンバーについて「コーチと何度も話し合って決めた。選手の観察をしながらメンバー替えを行なったり、最終的にこのメンバーでコーチと一致した」と話した。なお、同メンバー唯一左利きの陳冠宇投手に対し、若い投手を引っ張ってほしいと期待し「スタミナは問題ない。あと



アジアプロ野球チャンピオンシップ各国監督 左から稲葉篤紀氏、洪一中氏、ソン・ドンヨル氏 (写真提供: 自由時報社)

Oct.13 江宏傑選手の妻・福原愛さん女兒出産

リオデジャネイロ五輪・男子卓球台湾代表の江宏傑選手の妻で、卓球女子団体銅メダリストの福原愛さんが第1子となる女兒を台湾南部の高雄市の病院で出産した。福原さんも自身のブログで「今朝、2995gの女の子を出産しました」と綴っている。なお、夫の江選手は、母子ともに健康状態は良好で「病室で既に母乳による授乳を始めた」と語った。江選手と福原さんは昨年9月に結婚。今年1月には台北市

内で披露宴を行い、6月に福原さんの妊娠を発表していた。



福原愛さん女兒出産

Oct.17 台湾文化の日、174の文化館無料

「台湾文化の日」として定められているこの日、文化部とそれに所属する団体、国立故宫博物院などの「文化館」174箇所の入館が1日無料となった。また、台湾各地でイベントも行われた。医学人文博物館では、記者会見を開き台湾文化協会設立96周年を祝賀したほか、国立台湾美術

館の正門広場で「台湾前進せよ・コンサート」を開催し、国立台湾交響楽団が台湾の文化と密接な関係にある楽曲を演奏した。「台湾文化の日」は、1921年10月17日に蔣渭水氏、林獻堂氏ら長期的視野を持つ文化人が「台湾文化協会」を設立した事に由来するとしている。

Oct.19 学校校庭に「南女100」

日本統治時代に開校した国立台南女子高級中学(南女)の教師や生徒ら約2500人が校庭に「南女100」の人文字を作った。今年で100周年を迎えるに際し、記念写真を空撮したもの。同校の鄭文儀校長によると、10年前に90周年を祝う記念写真を撮影した際、解像度が低いなどの理由から、写真のなかの生徒らがぼやけて認識しづかったという。今年は器材をアップグレードし、歴史に残る記念写真撮影をする事となり、人文字を作り、ドローンを使用し上空から撮影したという。なお、千人規模の人文字づくりが初めてという同校は、教職員や保護者、卒業生

を総動員して撮影に臨んだ。今後12月まで運動会や音楽会などの記念イベントを相次いで開催する事になっているとし、祝賀会には「蔡英文総統」を招く計画があるという。



「南女100」の人文字 (写真提供: 自由時報社)

Oct.19 国際技能競技大会で世界4位に

アラブ首長国連邦で開催された第44回国際技能競技大会で、台湾は金メダル4個、銀メダル1個、銅メダル5個を獲得し、総合成績は世界4位となった。台湾が金メダルを獲得した技能は、電子機器組み立て、家具木工、自動車技術、グラフィックデザイン技術。なお、自動車技術で金メダルを獲得した国立彰化師範大学附属

高級工業職業学校附設進修学校の陳浪亭さんには、出場国・地域別で最高得点を獲得した選手に与える「各国最優秀賞」が贈られた。同大会は、参加国の職業訓練の振興と技能労働者の技能を競うもので、今年は世界各地から過去最多の1,300人近くが出場した。

Oct.20 頼市長、バナナの買い上げ量1200トンへ引き上げ発表

豊作の影響でバナナの産地価格が落ち込んでいる事を受け、立法院(台北市)で行われた販促イベントで頼清徳行政院長は、農業委員会による買い上げ量を当初の目標1000トンから1200トンに引き上げると発表した。また、蘇嘉全立法院長は、政府の救済策だけでなく、国産品を買う

事が問題解決への近道だとして、国民に国産農産物の購入を呼び掛けた。バナナの平均産地価格は今年2月の1キロ86.46元から9月の同8.41元まで下落した。同イベントは、値下がり苦しむバナナ農家を応援するため立法委員によって行われた。

Oct.24 ブユマ号脱線、乗客300人無事

台湾鉄路管理局(以下:台鉄)台東線で、「特急普悠瑪(ブユマ)号431番」の一部車両が脱線した。乗客約300人にけがはなかった。事故原因は未だ不明であり、台鉄は原因究明を急ぐとしている。脱線したのは、台東苑樹林行きのブユマ号2両目〜6両目の車両。三民駅(花蓮県)に入ろうしたところで脱線した。幸い三民駅には線路が3車線あったため、後方の電車への影響は少なかったという。なお、乗っていた乗

客の一人は「何で車輪が石の上で転がってゐるだろうと、突然よくわからない状況になった。この電車全部がひっくり返ってしまうんじゃないかと怖かった」とコメントしている。脱線した電車は64分遅延し、花蓮駅では乗客らにお弁当やミネラルウォーターが配布された。花蓮駅的林徳香駅長によると、搭乗していた乗客らに対し、1年以内に各駅で全額返金あるいは同様のチケット提供が可能だとしている。

Oct.25 台湾漫画フェスティバルが初めて開催

台湾のオリジナル漫画が集結する初のイベント「台湾漫画フェスティバル」が台北市内で開幕した(10月25日〜11月5日)。同イベントは、台湾本土の漫画家に作品を展示する場を設けると同時に、作品を見た人々にも郷土への関心を持ってもらおうと台北市漫画従業人員職業工会によって企画された。イベントのキュレーターを務める同会の頼有賢秘書長によると、台湾で行われる大型の漫画イベント

に出展される作品の多くが日本の漫画で、台湾のオリジナル作品はめったに見られないという現状も起因しているという。同イベントの、メインエリアでは368人もの画家がそれぞれ台湾全土368郷鎮の代表的な建築やグルメ、伝統文化などを描いた作品を展示。有名漫画家と若手漫画家の連携を通じ、台湾漫画界の未来の発展性も伝えたとしている。

Oct.25 オーストリアへのワーキングホリデービザが1年に延長

台湾とオーストリア両政府は、双方の青年に対して発行するワーキング・ホリデー査証の有効期限を、従来の6か月から1年間に延長した。両政府はこれまで、年間50人を定員として、双方の18歳から30歳までの青年に6か月間有効のワーキング・ホリデー査証を発行していた。オーストリアの国会は最近、海外の青年に対するワーキング・ホリデー査証の有

効期限を、従来の6か月間から1年間に延長する法案を可決した。これに伴い両政府はこのほど、改正「青年向けワーキング・ホリデー制度に関する台湾とオーストリアの合同声明」に署名した。台湾政府はすでに15カ国と同制度の協定を結んでおり、これまで海外を訪れた台湾人はのべ22万人に達している。

Oct.28 金門島のカジノ施設設置は反対多数

台湾離島の金門島でカジノ施設設置の是非を問う住民投票が行われ、反対24368票(約90%)、賛成2705票(約10%)と、反対多数の結果で否決された。台湾では、離島がIR(カジノを含む統合型リゾート)誘致をするためには、離島開発法のもと、住民投票における賛成多数の可決を条件としている。台湾の離島のうち、馬祖島で2012年、澎湖島では2009年と2016年にも同様の住民投票が実施された。今回は離島4回目の住民投票で金門島では初めての実施となった。一方、賛成派が唯一勝利した馬祖島でも、関連法律の「観光



金門島のカジノ施設設置、反対派圧勝! (写真提供: 自由時報社)

Oct.30 台鉄、1年以内の値上げなし

交通部の賀陳旦部長は、台湾鉄路管理局(以下:台鉄)が10月29日に架線や信号の不具合など計3件のトラブル発生した事を受け、検閲中だった台鉄の運賃について、今後1年以内に値上げはしないと発表した。同30日に開かれた交通委員会において賀陳旦部長は、複数の立法委員から、

発生した3件のトラブルについて問い詰められた際「台鉄のミスを認め、サービスの改善を要求するとともに、今後1カ月以内に原因を追究する」と述べた。台鉄は赤字経営が続いており、賀陳旦部長は今月16日の同委員会でも、早ければ来年にも運賃を値上げするとの見方を示していた。(元=ニュー台湾ドル)

臺灣新聞社 共同企画ツアー

もっとコアな台湾旅行しませんか?

資料請求、お問い合わせ先

①株ジャンピングツアー・台湾セクション 担当:阿部・石川
Add:〒105-0004 東京都港区新橋5-9-1 曾我ビル3F
E-mail:abe@jumping-lao.com
Tel:03-3435-1811
Fax:03-3435-1800

②株式会社 臺灣新聞社
Add:〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4
E-Mail:info@taiwannews.jp
Tel:03-5917-0045
Fax:03-5917-0047

旅行企画・実施

エアーワールド株式会社
大阪府大阪市中央区内本町2-2-14-207
観光庁長官登録旅行業第961号
一般社団法人 日本旅行業協会正会員

TAIWAN TRAVEL

1月 台湾吉祥紀行

- 御旅行実施日:2018年1月12日(金)〜1月16日(火)
- 募集人員:15名様(添乗員が同行御案内)
- 最小催行人員:8名様 ■利用航空会社:エバー航空
- ご宿泊ホテル:高雄、高雄同賓ホテル、台中、全国ホテル、台北、華園ホテル
- 食事条件:朝食 4回、昼食 3回、夕食 4回(機内食は除く)
- 御旅行代金:¥124,800
- 一部屋利用追加料金(シングル) ¥31,500

七福神ゆかりの地を訪ねる!台湾吉祥紀行5日間

2月 台湾お祭り紀行

- 旅行実施日:2018年2月28日(水)〜3月3日(土)
- 募集人員:10名様(添乗員が同行御案内)
- 利用航空会社:チャイナエアライン
- ご宿泊ホテル:台南、台南ホテル、台北、華園ホテル
- 食事条件:朝食 3回、昼食 3回、夕食 2回(機内食は除く)
- 御旅行代金:¥154,800
- 一部屋利用追加料金(シングル)¥23,500

世界三大民族祭り!台南・塩水ロケット(爆竹)祭り台北4日間

観て、聴いて、食して台湾を堪能！ 練馬で「ALL 台湾 DAY」開催

NPO 法人ベーシックライフインフォメーション協会(田代實範代表)は10月21日、練馬区のココネリ三階ホールで「ALL 台湾 DAY」と題したイベントを開催した。同イベントは昨年引き続き2回目。

日頃より日本と台湾の交流に従事する同協会はイベント当日、台湾映画「orz ボーイズ」や日本で活躍した台湾人建築家、故・郭茂林さんを映したドキュメンタリー映画「空を拓

く」の上映を行ったほか、台湾留学生からなる台湾留日東京同学会(TTSA)による「日本と台湾の違い」をテーマにした雑談会や、台湾ピーンや年糕(台湾の餅)の提供を全て無料で行い、台湾を五感で感じる事の出来るイベントで日本人に台湾を伝えた。

若い台湾学生との接点を

同イベントでは、今年初めて台湾の留学生に協力を求め、雑

談会を開催した。

これについて田代会長は、「来場者にもっと台湾の若い世代の思いを知ってもらい交流を深めて欲しかった」という思いを語った。TTSAの石井賢一会長によると、TTSAが今年7月に行われた日本台湾祭り2017に出演していた際に、同協会から声をかけられ、今回のイベント参加へと繋がったという。

当日は、TTSAの幹部10人が登壇し、日本と台湾の食べ物の話や、日本の友人との関わりのおかげで感じた文化的な相違点など、多様な話題でトークを繰り広げた。

来場者からは、「日本では台湾の若者の話を聞くチャンスがないので、とても良い機会だった。できれば、次回は日台の教育の違いや、コミュニケーション上での問題点など、もっと深い話も聞いてみたい」という声もあり、次回開催への期待も寄せられていた。



台湾ピーンや年糕(台湾の餅)の提供



「ALL 台湾 DAY」今年も開催

洪馬克監督の 台湾ショートフィルムについて語る



作した約15分のショートフィルムについて話した。きっかけとなったエピソードがあったのか、このフィルムで一番何を伝えたかったか、など様々な会話が繰り広げられた。

夏原氏は、洪監督の作品「替生(リプレース)」は、開始8分後にはエンドロールが流れ、終わったかと思われた後、残りの部分を放映する、という日本映画では見た事のない手法を用いた事に触れる場面もあった。また同イベントでは、「映像を通じ、台湾映画の特徴や文化についても触れる事ができる」とした。

ゲストと来場者で記念撮影 イベントのキュレーターも

会式が10月22日、台湾文化センターで行われ、台湾からフォルモサ国際映画祭のフェスティバルディレクター・洪馬克監督、林學寛監督、李彦勳監督が出席した。

このイベントは、台湾ならではの文化や魅力の発信及び、映像の発展性促進を目的に昨年より開催され、今年で2回目。今年は「愛」、「青春無敵」、「動画狂想」、「生命探索」の4つをテーマに、台湾のショートフィルム全35本を同22日、23日の二日間、台湾文化センターで一挙上映した。

ゲストで出席した映画プロデューサーの日本人・夏原健氏の進行により、座談会形式で3人の監督それぞれが制



座談会の様子。洪馬克監督(右4)、林學寛監督(右3)、李彦勳監督(右2)、夏原健氏(右1) した映画プロ

台湾文化センター主催の台湾ショートフィルム上映イベント「台湾未来映画週間」の開

オーディション受賞者が 初の台湾で撮影！

JAPAN WOMEN'S COLLECTION(小林良夫代表理事)主催の昨年11月23日に開催されたJAPAN WOMEN'S COLLECTION2016公開オーディションに選ばれた上位三人の受賞者がこのほど、初の海外撮影に臨んだ。その第一弾に台湾が

選ばれ、9月9日から二泊三日、台湾の九份、中正記念堂、台北101ビルを望む四四南村に赴き、日本文化の象徴である浴衣による撮影を行った。

同オーディションは、「輝く女性をアジアへ」をコンセプトに世代に関係なく内面から磨く美意識が高い女性を選ぶというもので、その具体的な活動として台湾での撮影を行った。

台湾を選んだ理由に木野幸久理事長は、「台湾は親日であり、日本人に興味を持ってくれる」という。さらに「台湾には磨き甲斐のある女性が大勢いる。原石だ!」とコメント。今回を皮切りに、今後は、日本のファッションショーで歩きたいという台湾

人に同イベントの特別枠として出場してもらいたい、などの願望も示唆した。また、日本と台湾のオーディションにおけるタイアップも視野に入りたい、と意気込みも話した。

なお、三人の受賞者は1年間ドローン女子として活躍のほかTV、ラジオ(J-WAVE MUSIC BIRD)等の出演、各種イベントでPR活動する予定。



台北101を背景に撮影：総合グランプリの玲花さん(中央)・総合準グランプリの大谷里生子さん(右)・総合第三位のLUNAさん(左)

チャン・チェン来日! 東京国際映画祭に登場

東京・六本木で開催していた「第30回東京国際映画祭」内で行われた主席映画「MR. long(ミスター・ロン)」の上映記念スペシャルトークイベントが10月27日、六本木ヒルズアリーナで行われ、同映画の主演チャン・チェン(張震)とSABU監督が出席した。

チェンとSABU監督は2005年にモントリオール映画祭で出会って以来の友人だといい、チェンは昔からファンだったSABU監督と一緒に仕事ができる嬉しいとの喜びを語った。チェンはトーク中、「監督に対し好奇心があり、もっとよく知りたいと思って話しかけました。監督は思ったより寡黙な人で驚いた」と告白。撮影を終えた後も、聞きたい事を聞けなかった部分も多々あったという。

一方、SABU監督はチェンについて、「最初会った印象はやっぱりカッコ良



チャンチェン(左)・SABU監督

い。クールな殺し屋が似合う」とコメントしたほか、「国際的に活躍している人だから役者としてもプロフェッショナルな人だった」とチェンの演技を絶賛した。

同作品は、チェン演じる台湾の腕利きの殺し屋「ロン」が日本での任務に失敗し、終わった先の村で少し変わったお節介の村人たちの出会いにより、徐々に人間らしさを取り戻していくというストーリー。作品のなかでロンは、殺し屋でありながら、料理の腕を振る場面が多くあり、たまたま作った料理が村人の中で評判になり、牛肉麺の屋台を出



イベント中の様子、後ろには劇中の牛肉麺の屋台が登場

すという展開になっていく。この料理のシーンについては、SABU監督の「人殺しとして使うナイフという“マイナスの道具”が、料理を振る舞うという“人を喜ばす道具”に変われば面白い」との考えから生み出されたという。

同映画は同日、TOHOシネマズ六本木で上映されたほか、12月16日より新宿武蔵野館ほか全国で順次公開予定。

お便り募集のお知らせ

台湾新聞では随時お便り募集しております。台湾新聞に関する感想やご意見、質問、やってほしいコーナーのリクエストなど、どしどし受け付けております。皆様のお力を借りながら台湾新聞を盛り上げていきたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

お便りの送り先は下記まで!

メール
info@taiwannews.jp

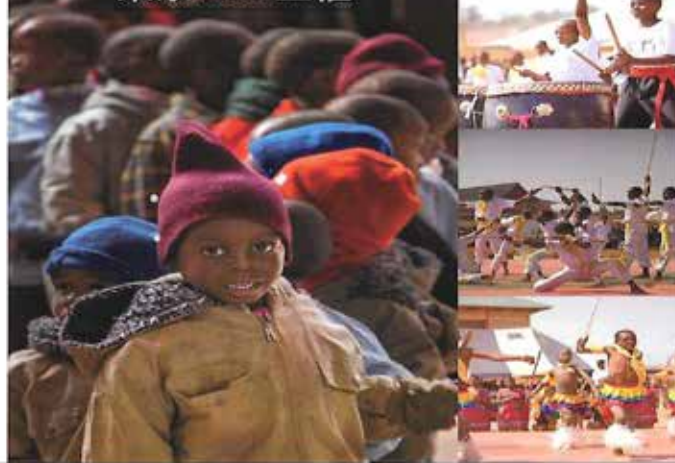
手紙・ハガキ

〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4

株式会社臺灣新聞社

第五回 2017年 スワジランド王国(南アフリカ)の孤児達による 感謝・舞踊の公演。

東京 ACC 主催



＜アフリカの子供たちからの贈り物＞
南アフリカ、スワジランド王国の孤児たちによる劇やダンス・カンパニーなどのショウを東京で開催します。
＜東京 ACC＞は戦後エイズなどで亡くなった、0歳0歳以上のアフリカの子供たちのサポートをしているNPO法人です。本部「阿弥陀佛チャリティセンター(Amitofo Charity Center)」を主宰する慧徳法師が中心となり子供たちの成長を助学・武術を通じて支援しております。今回の公演を通して日本の皆様へ感謝の意を表すことを目標に晴れやかな公演を行いますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。ありがとうございます。

2017.12.3(日)

会場：自由学園 明日館・講堂

〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-31-3

開場：午後6時

開演：午後6時30分

交通のご案内

◆JR池袋駅東口より徒歩5分

◆JR池袋駅西口より徒歩7分



主催：特定非営利活動法人 東京 ACC
理事長 池平(樹) 実音
後援：日本中華聯合總會、中華民族留日東京華僑總會、世界華人工商婦女企管協會日本関西分會、大阪華商同郷會、日本湖沼学会、日本華僑光榮會、株式會社臺灣新聞社、西東洋旅行

お問い合わせ：東京 ACC 事務局 03-6927-9479

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-36-3

池袋陽光ハイツ 1101号室

入場無料

台湾人百人百色 金門島で暮らす老兵—薛元發さん

文：林雅行(映画監督)

対岸には中国大陆が見える金門島。四国と似た形をした小さな島。東西が20キロ。島の中央部はわずか5キロ。この島は台湾(中華民国)の領土だ。第二次大戦後、まもなく始まった国共内戦の最後の戦場で、大陸で負け戦をくりかえして来た国民党軍が奇跡的に勝利し共産軍の侵攻をおしとどめた場所である。1949年10月だった。それから60年あまりたって私は国共内戦に破れ台湾に渡り中国へ帰ることなく台湾の軍の施設で余生をすごす老兵たちを取材する中で金門島を訪れたいと思い松山空港から飛行機に乗った。50分ほどで金門空港に到着する。

まず訪問したのは1人の老兵、薛元發さんだ。

金門島の北東部にある古寧頭集落には今でも建物には銃弾の跡が残っている。金門の中で激戦地となった場所である。海岸に出て薛さんは地図を広げながら当時のことを話してくれた。

薛さんは当時、砲兵部隊の観測兵だった。薛さんの部隊は、古寧頭から小金門島へ移動していたが、多くの戦友たちが古寧頭で戦ったという。

金門の国民党軍は、1949年10月24日昼、浜で大陸への逆上陸の訓練をしていた。2台の戦車が故障し25日に基地へ搬送することで戦車兵は夜をあかしていた。その日は強い東南風の風が吹いていた。

国共内戦を勝ち抜き大陸から国民党軍を放逐した共産軍。国民党軍はタイなどに迂回、台湾本島に撤退するために金門島に集結し防衛線を敷いていた。

共産党は台湾攻略を目前にし、その前に国民党の集結している金門島を掌中にしようと考えた。連戦連勝の共産軍はたやすく金門を制圧できると目算。

10月24日夜、共産軍はジャンクと呼ばれる中国の漁民が古くから使う小さな木造帆船に分散して乗船しやってきた。おりからの強風のため流されて古寧頭の海岸に漂着したのだ。

そのとき、故障中の2両の国民党の2台の戦車がいた。金門島に配備されていたのは21両の戦車。うち2両が古寧頭に偶然いた。

この戦車はM541という軽戦車で37mm戦車砲1門、7.62mm機銃2門、全長4.83m、幅2.28mで乗員4人。最高時速60km近くを誇り小廻りのきく戦車であった。対する共産軍は戦車、大砲はジャンクに乗せられないので小銃、機銃だった。

とはいえ2000人の共産軍が古寧頭に殺到し消滅させられた集落もでた。国民党との間で死闘を展開した。銃撃戦だけでなく白兵戦も展開された。「敵味方が入り乱れているので支援の砲撃すらできなかった。小金門にも敵兵がくるのではないかと思っていた」(薛さん)。

でも戦闘は古寧頭周辺に限られた。「小金門には来なかった。でも多くの友人が亡くなった」と語った。

古寧頭にある南洋風2階建ての洋館は、上陸した共産軍が司令部として使用した建物



薛元發さん

で、生々しい銃弾跡が残る戦跡として、今でも「北山古洋樓」として残っている。

薛さんが案内してくれた海岸だけでなく金門島のまわりには地雷が敷設された(今は全て撤去)。

薛さんは、台湾本島に渡ることなく退役後も金門に留まり余生を過ごしている。「友だちが死んだここで暮らしていたい」。古寧頭の戦闘で生き残った薛さんの思いであった。「台湾に渡った戦友たちが金門に来る。一緒に昔の戦場をまわりました」時々、台湾からの客も案内するという。

古寧頭攻略に失敗した共産軍は翌年から始まった朝鮮戦争のため、攻略を一時断念する。しかし1958年8月には共産軍は今度は大陸から一斉に砲弾を金門に撃ち込み台湾も反撃、いわゆる「823砲戦」が行われた。

かつてはジャンクで押し寄せた大陸の中国人。今は観光船で押し寄せて(?)いる。「中国人観光客を案内しますか?」とたずねると黙って首を横にふった薛さんでした。

てくてく台湾旅②③ 個人的ベスト・オブ・台湾料理=竹筒飯

松田義人(deco / 編集者・ライター)

竹筒飯は山岳地での定番メニュー

空前の台湾旅行ブームですが、旅行者の目的の筆頭はやっぱグルメ。素材の味を活かしたものが多く台湾料理の大半は、日本人の舌にバッチリ合い、それこそ赤ちゃんから年配の方まで楽しめる体に優しいものが多いように映ります。

しかし、一口に台湾料理と言っても実に様々です。台湾人の方ならご存知の通り、福建料理や客家料理をルーツにしたもの、そして日本料理をルーツにしたもの、さらに、これら台湾の食の歴史を背景に、各地で採れる食材を活かし親しまれるようになったご当地料理やお馴染みの屋台料理まで…。どれも僕は大好きですが、実は「一番台湾らしい」と個人的に思い、ときどき無性に食べたくなるのが台湾原住民料理です。日本人にも食べやすく、というか日本人の舌にバッチリ合う原住民料理が竹筒飯だと思います。

竹筒飯は、その名の通り、竹の筒にお米を入れ炊き上げたもの。中のお米は味付けされた粽的なものもあれば、味付けをせずそのまま炊いたものまでありますが、いずれにしても、竹の香りがついたお米はほのかに甘くて、どんなおかずにも合うように思います。台湾の都心部ではあまり口にする機会はないものの、台湾原住民が暮らす山岳地では定番のメニューです。

あるとき、花蓮の原住民の友だちから「台湾料理で何が一番好きか?」と尋ねられ、僕が「竹筒飯だ」と答えたところ、彼は「竹筒飯はうちのが一番うまい。うちの山で良い竹が採れるからだ」と言いました。さらに「今は竹を採るにはベストシーズン。明日の朝、

一緒に採りに行こう」と誘ってくれました。おぉ!なんて良い機会。面白そうです。もちろん承諾しました。

地図にない山の中の竹やぶへ

翌朝、バイクに二人でまたがり、地図には乗っていないという、彼らしか知り得ない山道をどんどん登っていきました。ある地点でバイクを停め、さらに鬱蒼とした木々を分けて山の中に入ると、突然竹やぶ群が表れました。竹やぶを前にした友達はやや目つきが鋭くなり、「この竹はダメ!この竹は良い!」と竹を選んで、良いものだけをバサバサ切っていきます。そして、彼の助手となった僕は、選ばれた数本の竹を逐一手渡されましたが、それらは全長2メートル以上とあまりに長い。「これどうすんのかな?」と思ったら、「今切るのは面倒くさいから、このままバイクでひきずって帰る」と言います。2メートル以上もある竹をズルズル引きずってのバイクの運転はちょっと危ないですが、助手である僕は従うしかありません。彼と一緒にズルズル竹を引きずりながら、また来た道をバイクで戻りました。

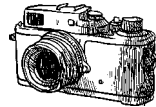
彼の家に着くと、「今から竹筒飯作る。夕方には出来る!その頃にまた来い」と言います。肝心の調理は体験出来ませんでしたが、言われた通りに夕方に彼の家に出向くと、大量の竹筒飯が湯気を上げ出来上がっていました。彼の家族も総出で作ってくれたようで、皆さんワイワイガヤガヤとすごく楽しそうでした。

彼は「この後、まだ旅行があるんだろう。お腹が空いたときはこれを食べなさい。4日間は持つから大丈夫!」と言い、僕に沢山の竹筒飯をくれました。旅行の先の行程を考えると、滞在中のほぼ毎食、その竹筒飯を食べることになるほどの本数でしたが、前述の通りどんな料理でも合うので、全く飽きることないばかりか、普段の台湾での食事をさらに美味しく、楽しませてくれるものでした。行く先々の食堂の店員さんにことわりを入れ、持ち込みの竹筒飯を食べているときは、「それ美味しそうね。どうしたの?」と周囲の人たちから声をかけられることもしばしばでした。なんとなく人とのふれ合いが、さらにふれ合いを呼んでいくような、いかにも台湾らしい思い出です。こういった背景も含めて、僕にとってのベスト・オブ・台湾料理が竹筒飯となっているわけです。



山ほどもらった竹筒飯

Photo de TAIWAN 第十一回 台湾在住20年写真家 熊谷俊之



干柿 新竹

百年以上の歴史がある新竹県新埔鎮の干柿作りですが、それはこの地形や雨があまり降らず乾燥している気候、そして「九降風」と言われる季節風が大いに関係しています。またこの観光農場では昔ながらの天日干しや炭火で柿を乾燥させているので、おいしさもまた格別ですね。撮影日時：2015年11月



※本年より新たに写真で台湾を伝えるコーナー「Photo de TAIWAN」が始まりました。台湾在住20年の日本人写真家・熊谷さんの写真を通じて、まだ知らない台湾を発見してみてください!

台湾語で もっと臺灣

台湾では中国語の他に、台湾語も広く使用されています。台湾特有の言葉を覚えて台湾への理解を深めましょう!

～家具編～

台湾語：ミーンツェン

日本語：ベツ

中国語：チュワン(床)

台湾語：デンシー

日本語：テレビ

中国語：デェンシ(電祝)

台湾語：イーヤー

日本語：椅子

中国語：イーズ(椅子)

台湾語：ドーワー

日本語：机

中国語：ジョーズ(桌子)

※台湾語は地域により様々な言い回しがあります。同コーナーでは一般的に良く使われる台湾語をカタカナで紹介しております。

記者筆記 / 記事には書けない取材の裏側

文 / パクチャー

台湾人あるある!

日本人のみなさんはおそらく正式な場所で、写真を撮ってはしゃいだりする事はあまりないですよね?

先日行った教育旅行交流会(3面参照)の取材の際、一種の台湾文化だな!と感



洪馬克監督と自撮りをしながら盛り上がる来場者

じた場面がありました。

約120人の校長先生や

教育関係者(60代くら

い)が来日したのですが、講演が終わった

後や交流会が始まる前など正式な場所で、

集合写真を撮ったり、個人で自撮りしたり

始めて無邪気にはしゃいでたんですよね!

そして一向に静まらず…。この交流会を

担当した日本人の方が「何であんなに写真

撮ってるんだ」と驚いていました(笑)。

でもこれ、「台湾人あるある」なんです!

私が台湾に留学してた時も、台湾人っ

てみんな写真撮るの大好きなんだとは

感じてました。というのも、台湾人の友

達とご飯を食べに行くと、毎食必ず食

前にみんなで写真撮るんです。例え毎

回同じメンバーでも自撮りします(笑)。

台湾人と接したことある方は感じた事あ

るかな?最初は私もびっくりしていたので

すが、その文化に慣れすぎて今や台湾人

です!

今回の取材で、写真大好きなのはおじさ

まおばさまになっても関係ないんだ!と実感

しました(笑)。

「東京未来映画週間」の取材(6面参照)

でも、台湾の洪馬克監督が来日したので

すが、イベント終了後に自分の携帯を取り

出して、一般人を巻き込みながら「来来来

(早くみんな集まれ〜)」なんて言いなが

ら自撮りしていたのも印象的でしたね。

教育旅行交流会でも東京未来映画週間

でも、来場していた日本人はそんな台湾

人に圧倒されながらも一緒に写真を撮りなが

ら笑顔で楽しんでいました。なんというか、

台湾人のパワーってすごいんです!そんな

写真に一生懸命になっている台湾人

を見ていると私達も元気になりますよ

ね?

何度でも行きたい!恋する台湾

世界初スタイルの台湾ガイド「何度でも行きたい!恋する台湾」が登場した。「二度目の台湾、どこに行こう?」。本書のターゲットは「台湾に恋する女子たちのため」に焦点を当て、「トコン使い倒せる本にしたい」との強い思いから、台湾のプロを自称する8人の日本人の精鋭が著作した。加えて発行元の「ウォーカー」シリーズの台北ウォーカー編集部員20人の台湾人スタッフも全面協力した渾身の一冊でもある。

世界初のガイドとして、本書内にポケットを設け、A5版のサイズに折りたたんだポケットサイズのガイドを内包している。このガイドを広げるだけで「地図、食、遊、買」が一目でわかるスタイル。紹介している内容は「台北3〜5時間」(8ルート)「台北近郊1泊2日」(宜蘭など2ルート)「遠方

3泊4日」(台中、台南、台東など5ルート)などの独自3アイテムを網羅している。使い方も独特だ。ルート+マップ+スポット情報をまとめた15の「ルートガイド」とジャンル別にオススメ店を紹介する「スポットガイド」がセットになっている。

このため、持ち歩きがしやすい、プランニングせずにディープな観光ができる、自分好みにカスタマイズできる、などが可能であり、これこそが本書の三大特徴である。世界初を標榜しているだけに、画期的なアイデアといえる。

「長く愛用してもらいたいから、デザイン性にもこだわりました」(著者)。もちろん全頁オールカラーだ。このガイドがあれば台湾観光が何倍も楽しめること間違いなし!

読者プレゼント企画

台湾新聞をご覧の皆様の中から抽選で4名様に本書「何度でも行きたい!恋する台湾」をプレゼント致します!応募方法は、ハガキに応募券の切り抜きを貼り付け、お名前、ご住所、お電話番号及び台湾新聞へのご意見ご感想を明記のうえ、台湾新聞編集部までお送りください。当選のご連絡は発送をもって代えさせていただきます(11月中旬に発送予定)。

締切り：11月15日(消印有効)
株式会社臺灣新聞社編集部
〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 / tel:03-5917-0045

台湾新聞247号 読者プレゼント

応募券



刊：KADOKAWA
本体価格：本体1200円(税別)
判型：A5判
頁：スポットガイド34頁
+ルートガイド全15ルート
発売日：2017/10/2

日本各地で行われた 国慶節をご紹介します!

国慶節とは、中華民國の建国設立を祝う式典であり、台湾では大きな祝事のなかの一つに当たります。日本でも在日華僑団体の方たちにより、北は北海道から南は沖縄まで、毎年さまざまな場所で盛大に式典が開かれています。

神戸



主催/中華民國留日神戸華僑總會

京都



主催/中華民國留日京都華僑總會

埼玉



主催/埼玉台湾總會

札幌



主催/台北駐日經濟文化代表処札幌分処

大阪



主催/中華民國留日大阪中華總會

山梨



主催/山梨台湾總會

東京



主催/台北駐日經濟文化代表処

山形



主催/山形中華總會

福岡



主催/台北駐大阪經濟文化弁事処福岡分処

千葉



主催/千葉県中華總會

四国



主催/中華民國留日四国華僑總會

静岡



主催/静岡県台湾總會

東京



主催/中華民國留日東京華僑總會

那覇



主催/台北駐日經濟文化代表処那覇分処

大阪



主催/台北駐大阪經濟文化弁事処

名古屋



主催/留日名古屋華僑總會

横浜



主催/中華民國留日横浜華僑總會